

卒業生からのメッセージ

新潟大学 消化器内科分野

9期生 諸 和 樹

Nothing is impossible

初期研修を終えて3年が経過しました。現在は新潟大学で臨床と研究を行っています。長岡中央総合病院での初期研修2年間は大変有意義なものでした。救急患者の初期対応から、細分化された専門治療に至るまで、先輩研修医、各科上級医が後ろに控え、懇切丁寧な指導が受けられます。豊富な症例に触れるということは何も救急医療だけではありません。多くの病棟患者を担当し、各種内視鏡、手術、カテーテル治療など様々な手技を経験できます。学術面においても手厚い指導が受けられますのでご安心下さい。

厚生連病院では研修医全国大会が年一回開催され、我々の代では長岡中央総合病院が主催しました。全国各地で開催される勉強会にも積極的に参加できる体制が整っており、できないことはありません。医学部卒業までは大方同じ道を歩みますが、初期研修医からは自分で道を拓くことになります。その第一歩を長岡中央病院で踏み出してみたいかがでしょうか。



長岡中央総合病院 消化器・一般外科

9期生 中野 応 央 樹

僕たちのhome @長中

長中では時々「ひい〜!」というくらい沢山の、様々な疾患の患者さんが訪れますので、症例に困ることはまずありません。眠れない当直然り、総合診療科では他ではなかなかない外来枠を持ち、診断・治療からフォローアップまで経験できます。それが教科書通りの症例だったり、また少し違っていたり…。大変だけどしっかり食らいついていけば、確実に力がつきます。また仕事で疲れた心と体は、長岡の美味しいA~B級グルメが満たしてくれます。今振り返ってみても、長中は研修するのにもってこいの病院です。ちなみに私は、長中の各科の個性豊かな先生方から熱く御指導頂き、最終的に内視鏡の面白さ・奥深さにはまってしまい、消化器内科に進みました。

「患者さんの所に行ったら、何か一つ笑わせてこい」「楽しんで学べ」。研修中に教わったこの2つの言葉は、今も私の根幹にあります。長中を離れ早2年が経ち、色々な病院に出向いていますが、長中は今でも私を育ててくれ、同期や先輩・後輩を結ぶ「home」です。

何はともあれ、一度気楽に見学に来てみて下さい。そして慌ただしいバタバタした救急外来を見て、それでも楽しんでいる研修医を見て、夜は長岡グルメをおねだりして。ゆくゆくは「home」に加わってくれることを期待します♪

